

## 航空

2022年7月6日



# 平野ロジスティクス 電子化も推進、医薬品物流強化



西端純一支店長

平野ロジスティクスは、国際航空運送協会（IATA）の医薬品輸送品質認証「CEIVファーマ」取得を機に、さらに医薬品関連貨物の輸送に力を入れている。専用車両の拡充も検討するほか、このほど医薬品関連輸送に係る情報を電子化して共有する体制を整えた。各種規則や書類、作業行程などを電子化することで、情報のアップデートとその共有などが迅速化した。関西支店の西端純一支店長は「オペレーションの行程管理や品質、それらに対する認識を共有するためのツールとして非常に有効に機能している」と説明する。

平野ロジスティクスは、医薬品専用車両が充実しているほか、経験に裏付けられた医薬品取り扱いノウハウが強みだ。フォワーダーをはじめとする物流会社、製薬会社の事業案件を数多く手がけてきたことなどを背景に品質を高めてきた。国際航空運送協会（IATA）の医薬品輸送品質認証「CEIVファーマ」も取得。関西エアポートが主導する「KIX Pharmaコミュニティ」の第二弾の取り組みに参加したもので、平野ロジスティクスの認証取得は5月24日付け。

平野ロジスティクスでCEIVファーマ認証取得を主導した西端支店長は「長年、取り組んできた医薬品輸送品質の向上の取り組みが今回、CEIVファーマ認証という形になった。認証取得に向けた監査、各種施策を通じてグローバルスタンダードの品質を確保することの重要性、品質に対する意識もこれまで以上に高まった」と説明。「認証取得を一つのきっかけに、SLAを締

結している協力会社とともに、さらなる品質向上に日々、取り組んでいく」と述べた。

平野ロジスティクス関西支店は高まる医薬品取扱需要に対応するべく、専用車両の導入、社内教育の充実により品質向上に務めてきた。関西支店に配置されている医薬品専用車は大型車（10トン車）および4トン車。このうち大型車に関しては関西エアポート、同空港の医薬品専用共同定温庫「KIX-Medica」、同定温庫を運用しているCKTSのロゴを施した「Medica号」も運行している。

作業時間短縮を目的に製薬会社の強い希望で採用したエアジョルダール搭載の大型専用車両も強みだ。同車両にはサーキュレーターを装着しており、庫内温度がより安定する構造となっている。試薬の輸送などに関しては少量の輸送に適した4トン車も活用している。オリジナル・トレーラーを含む充実した車両によるネットワーク、医薬品輸送にも対応した高度な品質、充実した物流拠点といった要素を組み合わせ、ニーズに柔軟に対応している。

今後も製薬会社、医薬品関連貨物を取り扱う航空会社やフォワーダーをはじめとする物流事業者のニーズに応えるために、医薬品輸送専用のオリジナル車両の開発にも取り組む方針だ。平野ロジスティクスは西日本初のAEO特定保税運送者であることに裏付けられた高度なセキュリティも特色だ。医薬品貨物の取り扱い、オペレーションの管理に電子化も取り入れた。国際航空輸送される医薬品関連貨物、医薬品メーカーの工場間の輸送をはじめ、強みである品質を生かして各種輸送需要に柔軟に対応する方針だ。



平野ロジスティクスの医薬品専用車両

Daily Cargoに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.